



聖日礼拝プログラム

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

| | | | |
|---------|---------------------------------|----------|---------|
| 讃美★新137 | 聖なる聖なる | — | 同 |
| 主の祈り | | — | 同 |
| 讃美★新376 | 如何に汚れたる | — | 同 |
| 交読詩篇 | 51:1~13 | — | 同 |
| 祈 | 書 イザヤ6:1~13 | 渡邊頼子師 | |
| 聖 | 書 「イザヤの見た幻」 | 司会者 | |
| 説 | 教 「イザヤの見た幻」 | 渡邊貞雄師 | |
| 献 | 金★イ351 | いかなる恵みぞ | 個人個人で |
| 頌 | 新63 | 父、御子、御霊の | (起立) 一同 |
| 祝 | 禱 | | |
| 報 | 告 | ★印。=全節朗読 | |
| 受 | =なし / 操 = 渡邊師 / A = なし / 報 = 牧師 | 司会者 | |

互いにこう呼び交わしていた。
「聖なる、聖なる、聖なる、聖なる、万軍の主。その栄光は全地に満ちる。」
イザヤ 六・三



〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2022年4月24日 VOL. 45-17 No. 2373

URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 今朝から旧約の大預言書からみことばが開かれ、礼拝をささげます。
- ▼ 来週聖日は、中部修養会の一環で、中部教区・合同礼拝となります。
◎講師=渡邊恵樹師 ◎主題=「えっ、もう収穫!?!」 ◎聖書=ヨハネ4:31~38 お祈りください。接続方法は別に説明を差し上げます。

- 来週礼拝ヨハネ4:31~38
- 主 題「えっ、もう収穫!?!」

- ▼ 明25日(月)午前は、合同礼拝のリハーサルがもたれます。お祈りを。
- ▼ 26日(火)夜は、第1回「若手牧師研修会」(ZOOM)がもたれます。
- ▼ 29日(金)午前は、横浜霊園において「召天者記念会」が持たれます。お祈りください。



にれ はみ

2022年4月17日
復活節礼拝
マルコ16:1~8
「希望への十字架」
説教 渡邊貞雄 師



主の受難から三日目の日曜の早朝に、婦人たちは主が埋葬された墓に急いだ。そこで驚くべき出来事に遭遇した。

I、婦人たちの行動

いち早く行動を起こしたのは婦人たち、しかも単独ではなく数人の仲間との行動であった。婦人たちとは①マグダラのマリア(9)②ゼベダイの母マリア(ヤコブとヨハネの母)③サロメ④ハンナ(ルカ24章)たちでした。

このメンバーは、十字架の前でもともに居合わせた婦人たちであった(15:40)。この朝、婦人たちは大きな石に不安を覚え、ここにやって来た。

私たちも不安があっても、悲しみを乗り越え、心を切替え、一歩前への信仰の行動をとることは大切である。

II、主の墓での課題

①主が埋葬された墓には大石があり、封印がなされ、兵たちが寝ずの番をしていた。しかし「目をあげると」(4)、その大きい石はすでに転がしてあった。信仰とは悩みの中にあっても一歩前に踏み出すことである。その時、神は私たちのために働かれる。

②墓の中には青年がいた(5)。ルカ

やマタイで、青年は2人で、まばゆいばかりの衣を着て、顔は稲妻のように輝き、衣は雪のように白かったとある。

③その青年たちは、主は甦られ「ここにはおられません」と言い、ガリラヤで主と会える、ペテロに伝えなさいと語った。婦人たちの心は、不可解と混乱の渦が巻いていたことだろう。

III、婦人たちの反応

マルコの福音書は「恐れと驚き」が、主なテーマ。婦人たちは「逃げ去った」「震え上がり」「気も動転して」「何も言わなかった」、結論として「恐ろしかったから」(8)との反応であった。

今朝のタイトルは「希望への十字架」、十字架は限りなく恐ろしいもの。しかしこの主の十字架の意味が判ってこそ真の希望が生まれてくる。ここに復活の希望と喜びが待っている。困難の中で私たちは復活の希望に渴き、復活された主への信仰と結び合うことによって、この希望が喜びの実体験とされる。

復活の朝、婦人たちが下を向き重い心で墓に来た。聖書には「希望は失望に終わることがない」「私が生きるのであな方も生きるのです」とある。